

～ 埼玉県指定文化財の紹介 ～

羽沢遺跡出土縄文土器（一括）

指 定	県
種 別	有形文化財
種 類	考古資料
員 数	11点
指定日	平成10年（1998）3月17日
所在地	富士見市大字水子2003-1 水子貝塚資料館内



獣面装飾付土器土器



第40号住居跡の土器出土状況（昭和59年）

【概説】

羽沢遺跡は富士見市の北部に位置し、武蔵野台地北東部に形成された舌状台地の基部に立地しています。これまでの調査で縄文時代中期の住居跡が100軒以上確認されている市域を代表する当該期の集落跡です。

第40号住居跡は昭和59年（1984）に調査され、その規模は長径5.7m×短径5mの楕円形で、炉跡・柱穴も良好な状態で残っていました。この住居跡から完形品、もしくは完形に近い土器がまとまって出土しました。土器はその文様や器形の特徴から縄文時代中期の中頃から後半へ移行する時期のものとなり、この時期の土器の組合せを示す一括出土の資料として学術的価値が高いと評価されています。なかでも、ムササビが飛翔する姿を連想させる装飾をもった深鉢形土器は美術的要素も秀逸です。